



校報

わきいち

和合協力 気力体力 意志強固 知識探求 創立 明治8(1875)年7月15日

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

HP www2.namahage.ne.jp/~wakiichi

お世話になりました

～令和2年度末 人事異動による退職・転出教職員から～
校長 佐藤 和久

令和2年度末の教職員人事異動により、本校から7名の教職員が異動となります。

保護者の皆様や地域の皆様には、たくさんのご支援・ご協力をいただき、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。そして在職期間、何よりも、子どもたちの明るく元気に、一生懸命に物事に取り組む姿が、私たちの職務遂行のエネルギー源となっておりました。以下、退職・転出する教職員からの挨拶を掲載します。



校長 佐藤 和久

★本校在職4年 男鹿市立船川第一小学校へ異動

30数年前の教員採用試験日の朝、私は脇本駅から試験会場に向かいました。そして、教頭・校長の職をここ脇一小から始められたことに改めて縁深きものを感じています。これまで皆様方から頂いた多くの叱咤激励からは、子どもたちの健やかな成長への願いと地域の学校を愛する熱い思いを感じていました。今後の子どもたちの活躍と脇一小の益々の発展を祈念しています。ありがとうございました。



♡創立145周年の節目の年度末になりました。これからも、脇一小に、子どもたちに、保護者・地域の皆様方に、そして、脇一小を応援して下さる全て皆様方にたくさんの「福」が訪れますように。



少人数学習担当 小玉 葉子

★本校在職5年 退職

脇一小には二度目の赴任でした。児童数は減りましたが、元気で明るく、何事にも前向きなわきいちっこ魂は変わりませんでした。今年度は、コロナ感染予防のために制限が多い一年でしたが、工夫しながら活動する子どもたちに、地域の未来を創っていく姿も重ね、頼もしく思いました。今後の活躍を楽しみにしています。地域や保護者の皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



2年桜組担任 伊藤 康

★本校在職1年 潟上市立大豊小学校へ異動

明るく笑顔いっぱいの子供も達、天気の良い日に海の向こうに見える鳥海山。素晴らしい環境の脇本第一小学校で過ごせたことを本当にうれしく思っています。保護者の皆様には、多岐に渡ってご支援・ご協力をいただいたことを感謝申し上げます。一年という短い間でしたが、脇本第一小学校での思い出を胸に新しい勤務校でも頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。



3年梅組担任 佐藤 智子

★本校在職5年 男鹿市教育委員会学校教育課へ異動

赴任してからの5年間、楽しい思い出ばかりです。明るく素直でパワフルな子どもたちから、毎日たくさんの笑顔と元気をもらってきました。「脇一っ子は可愛いなあ♡」と、みんなの顔を思い浮かべる度に、思わずにっこりしてしまうような日々でした。脇一小が大好きです。保護者の皆様の温かい言葉にも、いつも支えられてきました。大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



6年梅組担任 伊藤 真弥

★本校在職3年 潟上市立追分小学校へ異動

教員として初めての勤務校が脇一小でした。素直で元気いっぱいのわきいちっ子。お会いするたび、温かい声をかけて下さる保護者の皆様、地域の皆様。至らないことばかりの私でしたが、みなさんからたくさん支えていただいた3年間で、離れていても、子どもたちの活躍が聞こえてくることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。



4年梅組担任 安藤 睦子

★本校在職1年 退職

4年生のみなさんと過ごした中でたくさんの思い出ができました。一緒にたくさん勉強したこと、山車どんどの学習にみんなと夢中になって調べたこと……、まだまだたくさんの思い出をずっと忘れません。4月からは5年生です。これまでに身に付けた力を自信にして、たくましく歩み続けてください。この先、たくさんの幸せが訪れる人生であるように願っています。ありがとう。



給食調理員 安藤 春香

★本校在職4年 退職

脇一小では、四年間お世話になりました。わきいちっ子は、人なつこくて、元気いっぱい！そんなみなさんの笑顔にたくさんのパワーをもらって、私は毎日、とっても楽しくお仕事をすることができました。ありがとう。お別れはさびしいけれど、またいつか、どこかで会えるはず…。それまでわきいちっ子らしく、成長して行ってくださいね。

お知らせ

◆定期人事異動にあたり、本来であれば、お世話になった保護者・地域の皆様には直接出向いてご挨拶をしたいところですが、コロナ禍の状況にあり、年度末及び年度初めの挨拶まわりをご遠慮させていただくことにいたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆また、市内小・中学校では、入学式へのご来賓の皆様のご招待を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ですがご遠慮させていただくことにいたしました。こちらでもご理解のほどよろしくお願いいたします。





未来に旅立つ卒業生

穏やかな早春の日、保護者様と在校生、教職員の見守る厳粛で心温かい卒業式を終え、20名が未来へ、進学先へと旅立っていきました。卒業生の凛とした姿や一人一人の抱負、呼びかけの言葉、合唱の歌声の響きなどから、小学校での活躍と未来への希望の光を見ることができたと思います。この様子を出席が叶わなかったご来賓の方々をはじめ、多くの皆様にご覧になっていただきたかったです。

- ・不安だよ卒業するのはうれしけれど東中行ったら頑張るしかない [〇〇]
- ・卒業式夢に向かって今一步 [〇〇]
- ・この背にはもう背負えないランドセル小学生生活終わりを告げる [〇〇]
- ・今日卒業たくさんの希望胸に抱き家族や友達感謝伝える [〇〇]
- ・六年間思い出たっぷりつめこんで中学校へとステップアップ [〇〇]
- ・中学の新たな道へ歩み出す家族や先生感謝を伝えて [〇〇]
- ・六梅で力を合わせ頑張った次は新たな仲間とともに [〇〇]
- ・脇一小二〇人の思い出はどこに行っても忘れられない [〇〇]
- ・卒業だ別れを告げてさようなら感謝をこめて思い出うかべる [〇〇]
- ・卒業だ家族や先生ありがとう [〇〇]
- ・思い出がたくさんつまったこの校舎別れを告げて新たな一歩 [〇〇]
- ・六年間いっしょに過ごし旅立つ日夢をかなえてさらなる高みへ [〇〇]
- ・入学いっつの間にやら六年生仲間とともに新たな道へ [〇〇]
- ・旅立つ日思い出いっぱい脇一小次は東中で思い出作ろう [〇〇]
- ・ありがとう六年間の思い出を [〇〇]
- ・六年間学んだ日々は宝物勇気を出して一歩踏み出せ [〇〇]
- ・脇一の思い出胸に刻みつつ仲間とともに新たなスタート [〇〇]
- ・友達と信頼関係六年間こつこつ築いてかたい絆へ [〇〇]
- ・お別れだ六年一緒のこの校舎 [〇〇]
- ・卒業式新たな道への第一歩 [〇〇]



修了式！この1年間の成長を認め合い、4月からの活躍を誓う！

1～5年生の子どもたちもこの一年間で大きく成長しました。修了式では、各学年の代表に修了書を授与しました。ご家庭でもじっくりとご覧になり、話題にしていただければと思います。この紙面では、全校代表2名の発表をインタビュー形式に置き換えて紹介していきます。

〈問①〉頑張った事は？

1年 ○○○○さん

【答①】自学ノートに漢字と計算の練習を間違わないようにしたこと。ピアノ発表会で「ハイポー」という曲を弾いたこと。いっぱい練習して、前日に学級の子どもの前でも弾いたこと。
【答②】算数のかけ算の勉強で間違わないように計算できるようになりたい。



5年代表 ○○○○さん

〈問②〉次年の目標は？

4年 ○○○○さん

【答①】サイエンスクラブでジャンボしゃぼん玉の中に入ったこと。彫刻刀で花を彫り刷ったこと。放送委員会の朝の放送。
【答②】低学年の手本になれる高学年になること。1年生にバスの乗り方も教えたい。6年生を支えながら脇一小を立派な学校にしていきたい。

百周年記念事業のタイムカプセル碑

○平成12年8月5日(土)
百周年記念事業のタイムカプセルをオープン
○平成12年8月13日(日)
15日までの3日間、タイムカプセルの中味を会議室で展示する。参観者；延べ約100名が来校。
○平成14年11月26日(火)
協賛会総会、タイムカプセルセレモニー(タイムカプセルに作品を納める会)：協賛会の方々、PTA役員約20名が参加、その後婦人会館にて祝賀会を行う。

「W」…贈 平成元年度卒業生一同

「台座上面」…昭和50年7月15日

秋田県男鹿市立脇本第一小学校創立百周年
歴史と夢とふるさとと
記念事業 タイムカプセル
現代の文化生活の記録を未来へ託す
瑞峰 臨書

「台座下面」…カプセルとともに

夢をもちたくましく 生きる子ども
秋田県男鹿市立脇本第一小学校
平成14年11月から平成24年11月





校歌

作詞 天野 源一
作曲 佐々木竹治



一 恩荷の浦わに 腋本の
郷ひらかれて 千年古り
青海原に 鳥海の
秀嶺仰ぐ 吾が母校

二 さむ風山の 峰つづき
老鼻岬 潮立ちて
古城の跡に 松風の
昔語らん 吾が母校

三 ああ育まれし 湧本の
清き泉は 尽きもせず
望みは遙か 手を取りて
学び励まん 吾が母校



リサーチ

校歌碑
(創立百二十周年記念事業)

○平成8年1月25日(水)
前庭に百二十周年記念事業の「校歌碑」の工事が始まった。三十日に完成。

○平成8年3月7日(木)
校歌碑除幕式、百二十周年役員会・解散会、祝賀会(公民館)

〈校歌碑〉の裏

男鹿市立脇本第一小学校
創立百二十周年記念事業
校歌 歌碑施工者名

岩倉石村 佐藤正己
代表 男鹿寒風石工業株式会社
代表取締役社長 山内信平
寒風石材建設株式会社
代表取締役社長 菅原廣悦
成田石材株式会社
代表取締役社長 成田弘咲
株式会社吉政石村 吉田宣雄
代表取締役社長

創立百二十周年記念事業
実行委員会
平成七年十一月吉日建立
小玉三郎 謹書



おめでとう
ございます



★秋田国家石油備蓄基地「新防災船」名称公募に係る表彰

〈防災船Aの名称命名…「つばき」〉 ◎○○ ○○○ ①
◎○○ ○○○ ④
◎○○ ○○○ ⑥

(丸数字は学年・敬称略)



★第59回秋田市民スポーツ祭(兼)第11回秋田市空手道交流大会
〈小学2年生 男子 個人組手〉◎第1位 ○○○ ②



5日	月	児童休業日
6日	火	新任式・前期始業式、給食開始 春の交通安全運動(～15日まで)
7日	水	入学式、全校4校時限、給食あり 身体測定週間
8日	木	1年生集団登校開始、町内児童会①、 1年生下校指導・3校時限(～12日まで)
9日	金	委員会活動①
13日	火	1年生給食開始・4校時限
15日	木	1年生通常授業開始、尿検査①
21日	水	PTA授業参観日・総会・学級懇談
22日	木	交通安全教室
26日	月	市P連三役会①、視力検査週間
28日	水	1年生入学おめでとう集会、クラブ活動①
30日	金	PTA役員会(18時～)

6日	木	委員会活動② PTA奉仕作業(グラウンド整備 17時～)
7日	金	市P連総会・新任役員研修会(15時～)
10日	月	尿検査②、PTA奉仕作業予備日
11日	火	眼科検診
12日	水	運動会予行
15日	土	運動会
16日	日	運動会予備日①
17日	月	振替休業日
20日	木	運動会予備日②
24日	月	クラブ活動②
25日	火	市P連三役会②
26日	水	避難訓練①、(県民防災の日)
27日	木	全国学力・学習状況調査
28日	金	ピーチクラブ読み聞かせ、尿検査③

◆この紙面の情報は、3月25日現在のものです。
今後、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点等から
更に変わる場合がありますのでご承知おきください。

★問い合わせ★ 男鹿市立脇本第一小学校
TEL 25-2215 FAX 22-2009 (教頭まで)

男鹿市立脇本第一小学校 **♥ 学校がお休みになってもできること**

🏠 がんばろう みんな!

♥ やっぱり、**早寝**、**早起き**、**朝ごはん!**
よい生活リズムですごそうよ!



*教科書・プリント・ドリルなど...



♥ やっぱり、**わくわくの学び**がいいよね!
ときどきインターネットからものぞいてごらん!

*おうちの人とも相談してね。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index



♥ やっぱり、**3密(密接・密集・密閉)**をさけよう!



*マスク



*手洗い



*うがい

知らないうちに、拡めちゃうから。



♥ やっぱり、**体も動かそうよ。運動**もいいね!
イライラ、モヤモヤをためないで!

<https://3lion.younganimal.com/poster.html>

◆ご家族、地域の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、健康には十分留意なされ、どうぞご自愛ください。

◆わたしたちの学校は、令和2年7月15日に創立145周年を迎えました。



明治・大正の「樹栽活動」

「秋田県では、明治30年2月1日、県訓令甲第17号によって小学校における樹栽規程を「児童に樹木愛護と自然美観賞の心、および実業思想を普及し、あわせて学校基本財産の造成を以て目的」として定め、郡市役所や町村役場、小学校へ通達」しています。
▶脇本小学校でもその翌年から大がかりに行われています(*2)

〈明治31(1898)年4月24日〉 職員一同、尋常三学年以上ノ生徒引率。澤山ニ杉苗三千本ヲ植ウ。(*)

〈明治33(1900)年8月18日〉 古川郡書記、当校樹栽地見分トシテ出張ニ付、柏木准訓導、同導諷地ニ在ル(*)

〈明治34(1901)年4月12日〉 学校樹栽、野火ノ為メ延焼(昨干一日)セルヲ以テ実地検閲ノ為メ出張セリ。其延焼地ハ、初年植立地五分ノ四弱焼害セルモノノ如シ。
〈全 4月19日〉 杉苗四千本ヲ栽ウ(樹栽日誌ニ詳ナリ)(*)

〈明治43(1910)年4月17日〉 杉種式升、播付ケ。(*)

〈明治45(1912)年4月12日〉 高等科男児童六十名、北島、佐藤、小野、三訓導引率。杉苗植付ノタメ樹栽地ニ出張。五千本植付。此日、會スルモノ大倉青年團十五名、村長始メ役場吏員三名。
〈全 4月24日〉 樹栽地調査ノタメ縣技手出張セラレタルニ付、北島校長、下間助役立会トシテ同行セリ(*)

〈大正2(1913)年4月25日〉 学校樹栽トシテ職員児童(六學年以上)一同、字澤山ニ出張。植樹数、杉參千本。村會議員、役場員、人足十四人附添フ。(*)

〈大正6(1917)年4月24日〉 本校基本財産タル造林ノ補植トシテ杉二千本ハ高等科児童ニヨリテ午前九時ヨリ植付ケラレ、且ツ下間助役、天野収入役、板垣役場書記、関山村會議員等、特ニ現場ニ臨マレ指導セラレタル結果、午後一時首尾完了シタリ。〈全 9月29日〉 基本財産タル植栽地ニ高級児童引率。藤其他、蔓物ヲ刈取トラシメシニ未ダ嘗テナカリシ事ナリトテ、下間助役、天野収入役ノ来援アリ後ニ、児童ニ林檎ヲ送ラレ勞ヲ慰メラレシ厚意ニ却テ汗顔ノ到リナリキ。(*)

〈大正7(1918)年4月17日〉 基本財産ノ杉補植トシテ杉千本ハ高等科児童ニヨリ植付ケラレ、役場員、學務委員其他、関山、安藤ノ両村會議員ハ指導的ニ植付ケラレタルハ額ル快心ノ事タリキ。(*)



明治~昭和の「脇本の市」

明治の学校沿革史には、脇本村の暮れ(旧暦)の市日に出席生徒数が少なく、学校を休みにしたという記録があります。(*1) その脇本村の市場とは、どのような様子だったのででしょうか。脇本小学校学校沿革史以外の文献資料から見てみましょう。

◆天和二年(一六八二)の御高札写によれば「御伝馬ならびに駄賃掛荷一駄四十貫に過ぐべからず……脇本より駄賃一駄に付、船越へ三十文、北浦へ九十七文……」、次に享保四年(一七一九)の高札写には、「六月五日より十五日迄、脇本村において小荷駄馬市立置之間望次第に集り売買致す可き者なり」とある。『絹飾』によれば「男鹿中の駄馬争場当処なり……今に至りて馬数も多く他人数込み庭賃を取りて村の益となる……先年より他商人の市役を集め、市神祭りの料とす……」、加藤氏の古文書によれば「明治七年益と歳の市に日の出より日没まで御札町より荒町までの両側に往来の妨にならぬよう軒下九尺通小屋掛を許可されるよう願出……」とあり、さらに吉田三郎氏の『男鹿寒風山麓農日録』によると、昭和十一年一月十九日の脇本市場の店の種類の調査では五十七種類三百九十九店も出ている。古老の話を聞いても、多種多様の日用雑貨が陳列されて非常ににぎわいをみせ、男鹿全域の全戸から買いに来る人々が雑踏の中を人に押されるようにして歩いたという。購買者は男鹿全域の家の者が馬ソリをひき、あるいは下男を連れたり、戸賀村方面から舟できたりして、脇本の浜はこれらの船で壮観であったそうである。これほどのにぎわいを呈した市場が、昭和十二、三年ごろから急に不振になっていった原因は、船川港、船越、北浦をはじめとして各地に常設の商店が発達していったこと、



明治・大正の「教育点呼」

「市町村に居住している者で、尋常小学校、高等小学校を卒業し、中等学校へ進学しなかった者(年齢は20歳未満)を対象」とした教育点呼があり、社会教育の重要な場のひとつでした。▶担当者は、市町村立小学校長及び教員で、終了後、受けた者の氏名や成績を市町村に報告することになっていました。(*2)

〈明治43(1910)年2月11日〉 秋田縣訓令甲第十一号ニテ教育点呼規程ヲ定メラレタリ。秋田縣訓令甲第十二号ニテ学力検査規程ヲ制定セラレタリ。

〈全 4月27日〉 制定セラレタル教育点呼規程及施行規則到達セリ。

〈全 9月20日〉 九時三十分ヨリ十時三十分マデ教育点呼ヲ行ヒ、十時三十分ヨリ十二時マデ全部ヲ旧令尋常卒業、新令尋常卒業、新令高等科卒業ノ三部ニ分ケ、國語、算術ノ考査ヲ施行セリ。一時ノ左ノ式ヲ行ヒタリ。一、一同着席 二、修禮 三、奏樂 君力代合唱 四、教育勅語戊申詔書奉読(學校長) 五、郡視學訓話 學校長 村長講話 六、一同退散(*)

〈明治44(1911)年9月18日〉 教育点呼執行。参集者九十五名。(*)

〈大正6(1917)年7月27日〉 郡方面 教育点呼ハ、尋常小学校卒業以上ノ者ヲ召集スル規程ナルモ、半途退学者ヲ召集点呼ヲ行フハ、教育上裨益少カラズ認め通牒セラル。〈全 8月10日〉 縣方面 縣訓令甲第三十三号ニテ明治四十三年二月秋田縣訓令甲第十一號教育点呼規程中、第一條ノ二、第六條ノ二追加セラル。(*)

〈大正7(1918)年3月16日〉 教育点呼ヲ行フ。成績良好タリキ。(*)

〈大正8(1919)年3月21日〉 教育点呼ヲ行フ。学力方面、修養方面ハ、別問題トシテ。学校時代ノ氣分ハ、北海道出稼風ニ変化サレ、眞面目ノ氣分ナカリシニハ、益ニ補習教育ノ必要ヨリモ社會教育カ労働教育カ機會アル毎ニ確實ナル思想ノ附与ヲ痛切ニ感ジタリ。(*)

《特集 故きを温ねて新しきを知る》

〈明治29(1896)年2月8日〉 旧曆十二月二十五日。当村市日ノ為、出席生徒少数。臨時休業。(*)

〈明治30(1897)年1月27日〉 本日ハ歳暮(旧曆)市ノタメ出席生徒少数。臨時休校。(*)

〈明治35(1902)年2月3日〉 旧十二月廿五日。当村市日。廿六、自然休業。(*)

▶鉄道交通が逆に脇本の本村を取り残していったこと、戦争による品不足などがあげられるだろう。(*3) 大石正雄『脇本集落とその特徴~今に残る宿駅や市場の名残~(下)』(秋田魁新報 1976.1.10付タ刊)

◆脇本市場については、吉田三郎『男鹿寒風山麓農日録』昭和十一年一月十九日の記録がある。「蔬菜四十店内牛蒡がその九%、木綿類二十八店、フトコ餅二十四店、食堂十九店、焼餅十七店、昆布十七店、金刃物二十店、雜貨物十六店、ミリヤス類十六店、ゴム物類十六店、菓子屋十店、鹽物十二店、果物十店、桶屋九店、花屋九店、下駄屋八店、萬年筆九店、セトモノ九店、萬古着八店、小間物八店、鍋釜七店、肉屋五店、藁工品カスマ五店、松とユジリ葉五店、箕五店、バリカン五店」など五七種三九九もあつたと、その盛況振りを伝えている。(*2) 男鹿市史編纂委員会『男鹿市史上巻』(1995.3.31)

【出典・参照文献】 *1 脇本第一小学校『学校沿革史』 *2 男鹿市史編纂委員会『男鹿市史上巻』(1995.3.31) *3 大石正雄『脇本集落とその特徴~今に残る宿駅や市場の名残~(下)』(秋田魁新報 1976.1.10付タ刊)

◆ご家族、地域の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、健康には十分留意なされ、どうぞご自愛ください。



《特集 故きを温ねて新しきを知る》

明治から令和の「入学式」

明治初期の学制では、9月入学でした。小学校の学年を4月からとする事(4月入学)が法律で明文化されたのが明治33(1900)年です(*2)▼脇一小学校沿革史に初めて「入学式」という言葉が登場するのが明治35(1902)年です(*1)▼この前後年の1・2月には、「開業式」や「開校式」が見られます。また、4月の「始業式」の記述があるのみという年度も多く見られます(*1)。これらの儀式が入学式を兼ねていたかどうかは学校沿革史からは不明です。

★明治八年七月十五日、創メテ脇本小學校ヲ脇本村ニ設ク。実ニ、當校ノ記念日ナリトス。此時、四等教員石井鉄之助赴任セサレ、当村加藤勘兵衛家屋ヲ以テ假リニ校舎ニ充ツ。当時就學生徒数六十名、職員ハ、石井教員を除クノ外、手傳船山佐太郎、西村傳蔵ノ二氏ナリ。 (*1)

〈明治18(1885)年4月〉 初等第一級十名、第三級十一名、第五級二十名、春期學級試験施行セリ。 (*1)

〈明治24(1891)年1月26日〉 例ニヨリ開業式施行。其順席及景況ハ日誌ニ譲ル。 (*1)


〈明治25(1892)年4月4日〉 授業其學級ノ編制ハ新法令ニヨリ三學級ニ編制セリ。 (*1)

〈明治27(1894)年2月1日〉 開校式ヲ施行ス。村長、助役、学務番員等、出席。十一時三十分、式ヲ了ル。来賓ニハ茶菓ヲ餐シ、生徒ニハ饅頭五個宛ヲ与フ。 (*1)

〈明治28(1895)年1月22日〉 午前十時、開業式ヲ挙グ。生徒ニハ饅頭五個宛及一年分無欠席生徒へ褒費ヲ施セリ。其人員、十有八名。来賓一同ニ茶菓ヲ餐シ、午后二時、退散セリ。 (*1)

〈明治28(1895)年4月1日〉 晴 教場配置。生徒身長ニ依リ席順ヲ定メ休業。

〈全 2日〉 當分ノ間、各學年受持、左ノ通り定ム。

第一學年	小貫訓導	
第二學年	柏木訓導	
第三學年	大井訓導	
第四學年	佐藤校長 (*1)	
補習科一、二、三學年		

〈明治32(1899)年4月1日〉 渡部校長告別式ヲ兼ネ、始業式挙行。川井村長參列。〈全 7日〉 前校長出發ニ付、悪路ナルヲ以テ校前ニテ見送ス。 (*1)

〈明治34(1901)年4月1日〉 始業式執行。新學年生徒数ハ次ノ如シ(*1)

尋常一學年	未定	} 百〇六人	} 百五十八人
全 二學年	四十三人		
全 三學年	三十一人		
全 四學年	三十二人		
補習一學年	二十七人	} 五十二人	(*1)
全 二學年	十五人		
全 三學年	十人		

〈明治35(1902)年4月1日〉 入學式挙行。 (*1)

〈明治40(1907)年2月1日〉 開校式挙行。筑和校長以下、役場員、佐藤、天亮両村會議員參列。式後、児童一同ニ例ニ依リ饅頭五ヶツノ分與シ、終リテ来賓、職員、宴會ヲ開ク。 (*1)

〈明治41(1908)年2月1日〉 午前十時ヨリ開校式挙行。伊藤校長ノ式辞、高橋村長ノ訓諭、千葉訓導ノ演説等アリ。參列者、高橋村長、落合助役、佐藤村會議員(*1)

〈明治41(1908)年4月2日〉 午前九時、新入學児童ノ入學式挙行。本年度、第一区ノ學令児童 男女五十四名ニシテ、本日就學児シタル者 三十名ナリ。 (*1)

〈明治44(1911)年4月4日〉 入学式挙行。新入學児童 男 四四 女四三。 (*1)



〈明治45(1912)年4月1日〉 始業式并ニ入學式挙行。父兄、来賓多数參列。児童ニ饅頭五個ツノ給与。 (*1)

〈大正5(1916)年4月1日〉 始業式並ニ入學式挙行。新入學児童八十三名。 (*1)

〈昭和49(1974)年4月2日〉 入学式。計九十一名。三學級の一年生となる。 (*1)

〈昭和57(1982)年4月7日〉 午後一時ヨリ入学式を行う。入學児童七十名。二學級編成となる。 (*1)

〈昭和59(1984)年4月6日〉 午前十時ヨリ海洋センター体育館にて入学式。六十四名 入學する。職員、PTA役員、後始末、器物運搬する。 (*1) ※2月20日、豪雪のため体育館が倒壊した年

〈昭和60(1985)年4月6日〉 午前十時 入学式挙行。五十九人入學する。 (*1) ※現在の体育館で行われた初年度

〈昭和63(1988)年4月7日〉 昭和六十三年度入学式(午前十時) 入學児童五十四名(男三三名、女子二一名) 入學児童に男鹿ライオンズクラブより黄色い帽子が寄贈される(会長 加藤義光 氏) (*1)

〈平成元(1989)年4月6日〉 平成元年度入学式(午前十時) 入學児童六十二名(男子四三名 女子一九名) 入學児童に脇本第一小学校協賛会から黄色い帽子が寄贈される。 (*1)

〈平成2(1990)年4月6日〉 平成2年度入学式(午前十時) 入學児童四十五名(男子十七名、女子二十八名) 入學児童に市民憲章推進協議会から黄色い帽子が寄贈される。 (*1)

〈平成12(2000)年4月6日〉 入学式(午前10時ヨリ 男子15名、女子17名、計32名入學) [来賓; 栗森PTA会長、男鹿東中大友教頭、幼・保育園関係者 ほか24名] (*1)

〈平成19(2007)年4月6日〉 平成19年度入学式 児童20名(男12、女8名)入學 (*1) ※脇一小と脇二小とが統合した年度

〈平成30(2018)年4月9日〉 入学式(新入生23名) (*1)

〈令和2(2020)年4月7日〉 入学式 10:00~10:30 ・新入生23名、保護者、在校生(5・6年生)、教職員が出席。市教委、来賓の出席なし。他の在校生は教室にて通常授業。 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の観点から、マスク着用、アルコール手指消毒、事前検温等の実施 (* 文責: 校長)

【出典・参考文献】 *1 脇本第一小学校『学校沿革史』 *2 『NIKKEIくらし&ハウス 暮らしの知恵』 (https://style.nikkei.com・article)

◆創立145周年記念特集「故きを温ねて新しきを知る」は、今回で終了となります。本年度も校報「わきいち」を保護者や地域の皆様にご愛読いただきありがとうございます。新年度も地域の学校として、本校の取組や子ども達の様子等の情報を発信しますのでよろしくお願ひいたします。

◆ご家族、地域の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、健康には十分留意なされ、どうぞご自愛ください。

